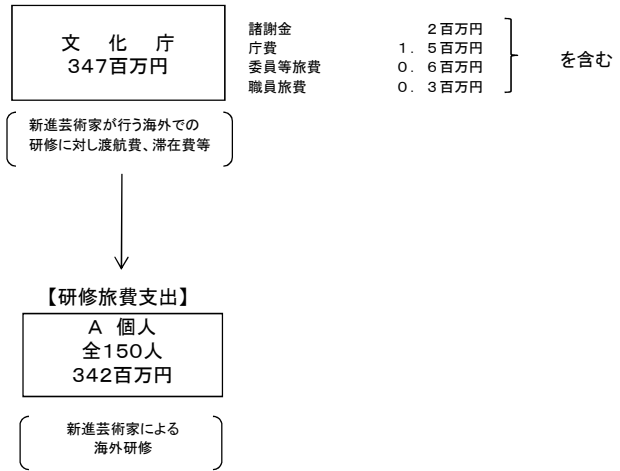


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)									
事業名	新進芸術家の海外研修			担当部局庁	文化庁			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度～終了年度未定			担当課室	文化庁芸術文化課			芸術文化課長 舟橋 徹	
会計区分	一般会計			政策・施策名	ⅩⅢ 文化による心豊かな社会の実現 ⅩⅢ-1 芸術文化の振興				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第16条			関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新進芸術家の海外研修への支援、発表機会の確保を実施し、世界に羽ばたく新進芸術家を養成する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	美術、音楽、舞踊、演劇等の各分野における新進芸術家の海外芸術団体や芸術家等への研修を支援することにより、実践的な研修の機会を提供。〔渡航費、滞在費等を支給〕(平成14年度開始)								
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	564	438	419	412	483		
		繰越し等	-	-	△ 0	-			
		計	-	-	-	-			
	執行額		564	438	418	412	483		
	執行率 (%)		477	385	347				
			84.7%	87.7%	82.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	新進芸術家海外研修制度修了後の活動形態について、「現在も主たる仕事として活動している」または「専門分野と関連した仕事と並行して活動している」と回答した研修員の割合			成果実績	%	84%	25年度において調査予定	25年度において調査予定	90%
				達成度	%	93%	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	新進芸術家海外研修制度における新規派遣者数			活動実績 (当初見込み)		94	64 (62)	85 (93)	— (71)
単位当たりコスト	2.3(百万円／1人あたり)			算出根拠	平成24年度実績額 347百万円／研修者数 150人				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		2 百万円	2 百万円					
	職員旅費		1 百万円	1 百万円					
	委員等旅費		1 百万円	1 百万円					
	芸術家外国研修旅費		400 百万円	461 百万円					
	庁費		2 百万円	2 百万円					
	文化芸術振興委託費		6 百万円	15 百万円					
計		412 百万円	483 百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない					

事業所管部局による点検						
		項 目	評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	内閣府の世論調査では、文化芸術の体験・活動の重要性を肯定する者は88.4%にのぼり、44.2%の者が文化芸術を支える人材の育成について国に力を入れてほしいとの回答をしている。また、第三次基本方針においても、芸術家等の人材育成は重点的に取り組むべき施策としてあげられている。 更に、新進芸術家等の研修制度については、芸術分野において国が実施することを強く実施を求められている事業である。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—			
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先(研修生)の選定にあたっては、外部有識者による協力者会議の審査に基づき決定しており、選定方法は妥当である。また、規則に基づき研修旅費を支給しており、水準、使途は妥当なものである。なお、紙媒体の募集案内を廃止するなどコスト削減に努めている。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
		単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事業の有効性		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	活動見込みについては、協力者会議を行う前に設定しているものであるが、優秀な者を概ね見込みどおりに選定できている。 なお、本制度により研修した者で国内外で活躍している者の例については、下記URLを参照。 http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/05kenshu/		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—			
重複排除		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果		本制度は、各芸術分野において国が実施することを強く求められており、これまでも国内外で活躍する芸術家等を多く輩出するなど、我が国の文化芸術振興に大きな役割を果たす事業であり、会計面においても適切に実施されている。 なお、世界を舞台に活躍する我が国の芸術家等の育成を一層促進するため、本事業の改善等を図っていく必要があり、例えば、派遣研修員の活動に係る制限や一時帰国に関する用件の緩和、より短期間の海外派遣スキームの創設、過去に派遣された研修員に対する再度の研修機会の提供などについて本年度検討する予定である。 また、過去の派遣者等の現在の活躍状況や本制度に対する改善意見等について調査するフォローアップ調査の実施を予定している。				
外部有識者の所見						
本事業においては、国内外で活躍する我が国の芸術家等の育成の促進といった成果が上がっていると認められる。しかしながら、本事業は平成14年度から実施していることから、これまで派遣してきた芸術家等の活動状況に係るフォローアップ調査等を通じて事業成果の検証を行い、その検証結果も踏まえ、今後のより効果的な事業実施の在り方について検討するべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点:本事業は、新進芸術家の海外研修を支援する事業であり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所 見:長期にわたり実施している事業であり、今年度予定されているフォローアップ調査や事業改善の検討結果について今後の事業内容に適宜反映するよう留意すべきである。あわせて、積算の不断の見直しなどを通じて引き続きコスト削減に努めるべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	本事業については、今年度予定しているフォローアップ調査等の結果を踏まえ、今後の事業改善を図ることを想定している。 また、職務などの関係で長期間の海外研修等を行うことが困難な芸術家や学芸員等が海外における研修や海外とのネットワーク形成を促進するため、新たに一ヶ月程度の短期間の派遣制度を要求する。平成26年度要求においては、研修旅費等の積算見直しを行い、概算要求に▲32百万円を反映した。					
備考						
○文化庁HPIにおける本事業のURL http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/05kenshu/						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0455	平成23年	0379	平成24年	0404

※平成24年度実績を記入。



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.個人A			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	研修旅費	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
2	個人B	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
3	個人C	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
4	個人D	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
5	個人E	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
6	個人F	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
7	個人G	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
8	個人H	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
9	個人I	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－
10	個人J	新進芸術家海外研修制度による研修の実施	4	－	－